

Point

2018/11/21 No. 21

JR東労組青年部

(東日本旅客鉄道労働組合青年部)

発行責任者 福田 潤一



語られていない真実がある！ ～あなたの疑問・悩みを解消～

IV

Q.

18春闘において、「大宮地本は5人しか指名ストを決意していない」ということがある地本で言われています。これって事実ですか？

A.

全く違います！ あと645人決意していますから！！

大宮地本管内では、総対話行動を取り組み、青年部員と膝をつきあわせた議論をしてきました。厳しいことから逃げずに相手に向かうことで多くの仲間が指名ストを担う決意をしてくれました。今職場では、「そんなデマとウソを流しているのは、どこのどいつだ！」という声が出ています。

職場の仲間が決意してくれた時の想いや現実、組合員の声を紹介します。

- ・格差ベア根絶の為には、指名ストをやるしかないと決意した。
- ・一人では怖かったが、みんなが決意するのを見て自分自身決意した。
- ・ストは決意出来ないが、非協力闘争なら自分にも出来ると決意した。
- ・ストを担うために、取り組んでいたマイプロのスケジュールを前倒して組んだ。
非協力闘争期間に超勤しないために、3月分を2月に取り組むなど努力をしてきた。
- ・ある営業職場では5人以上が決意していた。
- ・18春闘での指名ストについて、分会の役員が丁寧に説明してくれ熱意が伝わった。みんなやらなくては意味がないから、担う決意をした。

全国の職場で、格差ベア永久根絶のために組合員と議論してきました。また、組合員と向き合ってきたことで、大宮地本では650名を超える仲間が指名ストを決意してくれました。

真実は何かを見極め、秋のたたかいを推し進めよう！